

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 62

啓示録において (11)

花婿としての小羊

聖書：啓 19:7-9

I. 啓示録第19章7節から9節は、主イエスが花婿としての小羊であることを明らかに示しています：

- A. ヨハネによる福音書において、キリストは罪を取り除くために来た小羊、また花嫁を得るために来た花婿として啓示されています—— 1:29. 3:29：
1. 小羊は贖いのためであり、花婿は婚礼のためです。
 2. キリストの目標は罪を取り除くことではなく、花嫁を得ることです——啓 19:7. 21:2, 9-11。
- B. 啓示録において、わたしたちは、わたしたちの贖い主なるキリストが小羊であり、来たるべき花婿であることを再び見ます。花婿として、彼は婚礼を持たなければなりません—— 5:6. 14:4. 19:7, 9。
- C. わたしたちは地上におり、主に会う花嫁となる用意をしつつあります。彼は第三の天にある御座におり、花婿として来る用意ができています。こういうわけで、彼は花婿として来られ、わたしたちは花嫁として行きます——マタイ 25:1。

II. 啓示録第19章8節から9節によれば、キリストの妻、花嫁は千年期に勝利を得る信者たちから成っています：

- A. 啓示録第 19 章における小羊の妻は勝利を得る勝利者の総合計です。旧約と新約のすべての勝利者の総合計は啓示録第 19 章 7 節における妻であり、キリストの婚宴のために用意を整えます。
1. 花嫁が用意を整えることは、勝利者の命における円熟にかかっています——コロサイ 1:28. エペソ 4:13。
 2. 勝利者は命において円熟しているだけではなく、また共に建造されて一人の団体の花嫁となります——マタイ 16:18. エペソ 2:21-22. 4:16：
 - a. キリストは彼の勝利を得る信者たちから成る団体の花嫁と結婚します。
 - b. わたしたちが完全に三一の神で浸透されて、彼がわたしたちから流れ出るとき、わたしたちは共に建造され、組み合わされて栄光の召会となり、主イエスの愛する花嫁となります—— 3:16-17 前半. 5:27。
- B. 金の燭台としての召会だけがキリストの花嫁となることができません——啓 1:20：
1. このことは、わたしたちがキリストの命を生かし出す必要があることを示します——ヨハネ 6:57 後半。
 2. わたしたちがキリストを生きるなら、わたしたちが生かし出すのは神、すなわち、その霊です。それは光を輝かし出す純金によって表徴されます。こうしてわたしたちはキリストの花嫁となって、彼の願いを満たします——ピリピ

1:20-21 前半。

Ⅲ. 神の統治、すなわち王国は小羊の結婚と関係があり、小羊の結婚は神の新約エコノミーの完了という結果となります——啓19:6-9. マタイ22:2. 26:29 :

- A. 新約における神のエコノミーは、キリストが彼の贖いと神聖な命を通して花嫁、召会を獲得することです——ヨハネ 1:29. 3:29. 10:10 後半. 11:25。
- B. 新約の主題は、三一の神、すなわち、父、子、霊が共に働いて、御子のために花嫁を獲得することです——マタイ 28:19. 22:2。
- C. 婚礼は主の支配、すなわち、王国をもたらします。なぜなら、婚宴に招かれているすべての客は、団体の花嫁と花婿の共同の王であるからです——啓 19:6-9. 2:26-27. 20:4, 6 :
 - 1. 婚宴に招かれている人たちはみな王として千年間の支配にもあずかります——19:9. 20:4, 6。
 - 2. わたしたちの王は花婿です。わたしたち彼の共同の王は彼の花嫁です。千年間はわたしたちと花婿であるキリストとの婚宴とハネムーンとなります——マタイ 22:2. 26:29。

Ⅳ. 「彼の妻は用意を整えたからである。彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である」——啓19:7後半-8 :

- A. 花嫁は、花婿のために用意を整えなければなりません ——7 節後半 :
 - 1. マタイ第 25 章 1 節から 13 節において、器に油を持っていた（神の霊に自分たちの魂を満たさせ、浸透させていた）思慮深い処女たちは、「用意のできている」者たちでした。こうして、彼女たちは花婿と共に「婚宴の中に入った」、すなわち彼の来臨の時に、小羊の婚宴の中に入りました —— 啓 19:9。
 - 2. 花嫁が用意を整えたとは、召会が建造されたことを意味します —— マタイ 16:18. エペソ 2:21-22 :
 - a. 花嫁は、究極的な状態の召会を表徴します —— ヨハネ 3:29. 啓 21:2, 9-11。
 - b. 花嫁が用意を整えたとは、召会が成長して円熟し、建造されたことを意味します —— エペソ 4:16。
 - c. 用意を整えたとは、神がわたしたちの中で建造の働きを成し遂げたこと、またわたしたちが主の命において成長し、円熟したことを意味します ——3:16-17 前半. 4:13。
 - 3. 花嫁の用意が整えられるのは、キリストの贖い、有機的な救い、彼の有機的な救いの強化された働きによってです —— ヨハネ 1:29. ローマ 5:10. 啓 1:4. 4:5. 5:6。
- B. 啓示録第 19 章の花嫁は、輝く清い細糸の亜麻布の衣（聖徒たちの義）を着ています ——8 節. 3:4-5, 18 :
 - 1. これは、わたしたちの中で成長し、わたしたちから生かし出されたキリストです —— ピリピ 1:21 前半 :
 - a. わたしたちが、キリストにわたしたちの中で成長していただくことによって、彼を生かし出すとき、彼はわたしたちの生活となります —— ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17 前半. コロサイ 2:19。

b. キリストがわたしたちの中で成長し、わたしたちから生かし出される唯一の道は、わたしたちが常に彼を食べ飲みすることです —— ヨハネ 6:57 後半。

4:14. 7:37-39。

2. 聖徒たちの義は、わたしたちの存在の中へと構成された主観的な義としてのキリストを指しています。この主観的な義がわたしたちの中へと造り込まれば造り込まれるほど、ますますわたしたちは花嫁になる用意を整えます —— ピリピ 3:9. 啓 19:8。

3. 啓示録第 19 章 8 節の義は、義なる行ない、日ごとの歩み、クリスチャン生活を指しており、それはわたしたちの命なるキリストがわたしたちを通して成し遂げるものです。この内なる命が成し遂げたものが、わたしたちが着る白い亜麻布です —— コロサイ 3:4。

4. わたしたちがそのような義の衣を生み出すのは、命の霊にしたがって歩くことによって、またその霊の命である生活を持つことによってです —— ローマ 8:2,

4. ガラテヤ 5:16, 25。

V. 「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである」 —— 啓19:9前半 :

A. キリストの花嫁を構成する者たちは、婚宴に招かれている賓客です。

B. 小羊の婚宴は、マタイ第 22 章 2 節の婚宴です。それは勝利を得た信者たちへの褒賞となります。

C. キリストの婚宴に出席するよう招かれることは幸いなことです。それは、勝利を得た信者たちを千年期の享受の中へと導き入れます —— 啓 19:9 前半, 20:4, 6。